

家族と仕事の幸せのかたち No.4

第4回は、豊島区にお住まいの中村さんです。家業の薬屋を営む傍ら、収入を増やすために、副業に役立つ資格取得を模索され、現在は東京都の理容師資格取得促進事業の支援を受けて、東京理容専修学校の通信コースで修行中です。3年コースの2年を終えられ、週3回は理髪店で働いていらっしゃいます。



中村さん

42歳、お子さんは息子さん3人。

長男：建築を学ぶ大学生

次男：調理師として活躍中の社会人

三男：高3、将来はパティシエ！

はあと飯田橋初回来所は、2017年5月。

◆ 副業を模索してはあと飯田橋へ

— 初めてご来所いただいたのは、2017年5月でした。そのときの経緯を教えてくださいませんか？

そのときは離婚して3年ぐらい経っていました。当時僕は、薬屋をやっていて、20年近く店と家を往復する生活でした。離婚となったときに、情報を持っていなかったの、区役所のひとり親担当部署や子育て相談のグループなどを回って、様々な団体のチラシを集めてたんですね。はあとさんのメルマガも申し込んで、とにかく情報を集めていました。

2017年に、店の斜向かいに大手のディスカウントストアができるということがわかったんです。個人経営の薬局ですから、太刀打ちできません。パートさんを雇ってましたので、店を畳むわけにはいかない。僕の給料をゼロにすれば、パートさんひとり分の給与はまかなえるだろうということで、僕自身の副業を探したいと思ったのがきっかけです。子ども達のために稼ぎを上げたいというのあって、よし、はあと飯田橋に行こう！と。

— お店とご自宅を行き来するお忙しい毎日でも、副業を探そうと積極的に動かれ、はあと飯田橋にいらっしゃったのですね。

そうですね。3人の子ども達が、それぞれ将来の仕事を見つけ始めたときでした。僕自身には子どもが将来行きたい業界の知識もないし、知り合いもない。もしかすると、僕が副業探しで知り合った人達が、将来、僕の子どもたちを助けてくれるかもしれない、という思いもありました。

— 一人と人の繋がりを大切に考えていらっしゃいますね。大規模店の出店は、困ったことだったけれど、そのことをきっかけに世界が広がったのですね。

苦しんでいらっしゃる方にこんな言葉はかけられないし、僕自身渦中にいたらこんなことを言われたら腹が立つと思うんですが、「どんな出来事でも将来糧になるときがくる」と思うんですよね。いろんなことがあっての今の自分だと思ってます。

◆ 男親の苦勞

— 離婚後の男4人の生活、ご苦勞はありましたか。

シングルの家庭はどちらも同じだと思いますが、異性の親の役割も果たさなくてはならないことが大変でした。母性というかね。具体的な話をすると、女性の世界の常識がないんです。一番困ったのはお弁当でした。ずっと男として生きてきましたから、いろどりとかがおいしそうに見えるレタスの敷き詰め方とか知らないんですよ。本で勉強したり、人に聞いたりしました。なるべくバランスよく、見た目もきれいに。子どもが弁当のふたを開けたときに肩身が狭い思いをしないように。少しでも子ども達のマイナスにならないようになって、必死でしたね。そんな細かいことを一つ一つこなして今までできました。



(2016年 盛付けに悩み中)



(2017年 運動会応援弁当)

— お子さん達への思いがとても強いのですね。

すべてですからね。ただ、今はもう手放す時期だと思ってます。一番下が来春高校卒業。自分の目標も見つかり、それに向かって進んでいってもらうだけです。

◆ 子ども達の将来の道を見つける手助けのつもりが…

— 高校を卒業する前から、息子さん達はそれぞれ将来なりたい職業を具体的に見つけられたのですね。

そのために動きました。離婚時はほったらかしでしたので、学力もどん底でした。そこからの再スタートでした。留年しそうだとか、進路を考えると「やりたいことないのか」と。この5年間は言い続けてました。「何だっかっていい」「違ったと思えばやり直せばいい」「楽しいって思えることが一番だぞ」って。(裏面に)

(表面から)

—お子様達の将来の心配をしながら、家計のための副業探すと、たいへんでしたね。

そうですね、介護タクシーとかも考えて、介護の資格も取りにいったんです。薬屋も続けなきゃいけないから、夜の仕事にしようかと、夜のガードマンも検討しました。「手っ取り早いのは、近所の弁当屋だな、弁当屋にしよう」って決めかけたときに、ふっと「あれ、俺ってずっとずっと美容師になりたかったよね」という思いが湧いてきたんです。薬屋を継いだのは親に言われたからで、ずっとなりたかったのは美容師だって。「あの子たちに言うなら自分ができていなくちゃ。」と思いました。

それからは早かったですね。問い合わせたら1週間後が入学試験だって言うんです。

—すごいタイミングですね。もうやるしかない！

そうですね。でもね、直接のきっかけは自分の中の蓋

をしていた気持ちに気づいたことですが、ここにくるまでにいろんな方々にお世話になってるんです。そして、いろいろな支援制度を使わせていただきました。理容師の資格も来年取れるし、介護と登録販売者の資格もある。子ども達が自立した後は、僕ひとりだったら、なんとでもなると自信を持てるようになりました。ありがたいです。だから、お返しできるものは返したいなと思っています。

インタビューを終えて がんばっているお父様の姿を、お子さん達はしっかりご覧になって成長なさったと思います。笑顔に隠されたご苦労は、まだまだ語り尽きないのではとも感じました。紙面の都合上ご紹介できないところもあります。詳しくはHPで！



はあとミニミニ講座 ～志望理由書の書き方編～

志望先研究

志望する企業や学校について、案内やHPで詳しく調べます。

自分理解

自分はこの先何がやりたいのか、自分の得意なことは何か確認します。

就職活動でも、入試でも必要になることが多いのが**志望理由**ですね。でも、どうやって書けばいいの？とお悩みの方も多いことでしょう。そんなときはまず、この2点を押さえておきましょう！

「自分はそこに入って何をやりたいか、何ができるのか」

「なぜ他の企業や学校でなく、そこでなければならないのか」を書くのが志望理由です。

詳しくは**はあと飯田橋(03-3263-3451)**の「個別指導による小論文・作文対策」まで！

はあと・はあと飯田橋は、ひとり親家庭の総合的な相談窓口です。

●仕事の相談

☎ 03-3263-3451

ひとり親家庭それぞれに合わせた就業相談、就業支援、職業紹介を行っています。
通年 9:00~16:30 (年末年始を除く) ※火・木曜日(祝日を除く)は9:00~19:30
面接相談/月~土曜日(予約制) ※日・祝日は電話相談のみ

●生活相談

☎ 03-5261-8687

ひとり親ならではの暮らしの悩みや子育ての不安など、まずはお電話ください。
通年 9:00~16:30 (年末年始を除く)

●養育費相談

☎ 03-5261-1278

子どもの生活と成長のために必要な養育費の取り決めその他について、相談ができます。
電話相談/通年(祝日を含む) 専門相談/電話予約制

●離婚前後の法律相談

☎ 03-5261-1278

親権、婚姻費用、慰謝料、財産分与など離婚に伴う法的な相談ができます。
弁護士による面接相談/指定の日時 ※電話予約制 相談は3回まで。

●面会交流支援

☎ 03-5261-1278

当日の受け渡しや付き添い等の支援をします。月1回、1年間利用できます。
※お電話にてご相談ください。

相談
無料

迷っているあなたとご一緒に、これからのことを考えます。

発行 東京都ひとり親家庭支援センター

はあと

〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1セントラルプラザ5階

TEL: 03-5261-8687 FAX: 03-5261-1343

はあと飯田橋

〒102-0072 千代田区飯田橋3-10-3 東京しごとセンター7階

TEL: 03-3263-3451 FAX: 03-3263-3452